

大東小学校区 若草町在住

いなば 稲葉ゆかり 活動レポート



討議資料

4月23日の統一地方選挙において、1,339票のご負託をいただき、大府市議会議員となりました。地盤も組織もない中、応援して下さった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。初心を忘れず、常に市民目線で市政に取り組んでまいります。稲葉ゆかりは「厚生文教委員会」と「広報委員会」に配属されました。「厚生文教委員会」では「子どもたちの多様な学びについて」というテーマで研究に取り組んでおります。「広報委員会」では8月号の議会だよりの裏表紙に掲載されている「議会へ傍聴に行こう」という記事の原案を作成しました。まだまだ圧倒的に知識不足ですので日々勉強！をモットーに、公約に掲げてきたことから1つずつ行政に提言し、「希望あふれるまち」を目指して頑張る参ります！引き続きのご支援、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

5月1日から任期がスタートしました！

とり急ぎ、個別に実施したこと

草が生えていて見えにくい用水路で、車や歩行者が誤って落ちる危険性がある場所の対策



草が生い茂っていて道路側からは水路が見えなくて危険！

安全ボールを取り付けてもらえました。草刈りの必要もあるため、ガードレールの取り付けは難しいですが「危険回避ができました」とおっしゃっていただけました。

市へ要望提出

森岡町の一角です。事故や怪我が起きてはいけなく行政も早速動いてくれました。ご要望をお聞かせくださった地域にお住まいの Y さん、情報提供をありがとうございました。どうぞ安全にお過ごしください！

そして、どの会派で市政に取り組んでいくかを決定しなくてはなりません

選挙戦から一貫して「無所属・無党派」として草の根活動を行ってまいりましたが、議員として活動するにあたって所属する会派を決める必要がありました。いろいろ悩みましたが、実行力を持つ会派に属することが、市民の皆様のための仕事をする近道と考え、最終的に「親和クラブ」に合流させていただくことにしました。元の会派名は、「自民クラブ」ですが、心新たに一緒に市政を盛り立てていこう！という意気込みを込めて「親和クラブ」に会派名が変更されました。



【継続している活動】「178の日」

毎月1のつく日、1日、11日、21日（31日）に大府駅東口を中心に、あいさつ運動とゴミ拾い活動を実施しています。皆様のお声がけ大歓迎です！お困りごとなどもお聞かせください。

「いなば 178の日」

毎月1のつく日の
7時頃から8時頃まで大府駅で
朝のあいさつ運動&ゴミ拾いを行っています。

いなば 稲葉ゆかり 一般質問

令和5年6月2日～27日 第2回定例会

大府市議会 本会議録画配信

検索



稲葉ゆかりからは2点について、重点的に質問と提言を行いました。(令和5年6月16日)

- ★産後ヘルパー制度の導入
- ★土日の子ども一時預かり制度拡充

質問内容と行政からの答弁(要約)

Q 産後ヘルパー制度を刈谷市と同等の内容で、金銭面で負担が少ない形で導入できないか？

A 大府市ではNPO法人(ネットワーク大府)が家事代行業務を請け負っている。民間企業よりは安価であるが刈谷市の事業に比べると時間単価が倍以上と高いので、これからの少子化対策や子育て支援という観点から検討していく。

Q 土日や祝日に子どもを預けられる体制は整っているか？

A 公私連携型保育園「アスク共和東保育園」で土曜日は午前7時から午後8時まで、祝日は午前7時から午後7時まで対応している。

答弁を受けての所感

大府市では産後ケア事業として、生活保護世帯への支援、多胎児家庭への支援、病児保育・病後児保育、産後体調不良の方への支援など、子育て支援制度は他市に見劣りすることなく積極的に取り組んでいます。しかし、経済的に困窮しているわけではなく、健康面で特に不都合があるわけではない子育て世帯であっても、近くに助けてくれる親族がいないことで2人目3人目の子をもつことに不安を抱き、躊躇している人たちがいると思います。その不安を軽減してくれる産後ヘルパー制度の導入は、これからも本市を支えてくれる子育て世帯への投資であり、投資対効果が期待できる未来への投資でもあります。誰一人取り残さない子育て支援を念頭に前向きに検討していただけるよう期待します。

また通常は家の近くの保育園等に通っている園児でも、土曜日や祝日に保護者の急な用件や仕事がある場合「アスク共和東保育園」へ気軽に預ける事ができるという選択肢があるということをもっと広く周知して、子育て世代の安心につなげてほしいです。

新人議員として、まずは勉強！そして、とにかく行動！

6/28から3日間、東京ビッグサイトで開催された「自治体・公共Week2003」に自主参加しました

- ◆地方創生
- ◆スマートシティ推進
- ◆自治体DX
- ◆メタバース空間構築
- ◆自動運転公共バス
- ◆地域防災ICT



などをテーマにした講演や、説明ブースがたくさんあり広い会場を走り回って、今後の活動のヒントとなる知見やアイデアを得ることが出来ました。

7/12～14の2泊3日で、「親和クラブ」として他自治体への視察に行ってきました

- 1日目 神奈川県藤沢市：工場跡地活用のスマートタウン
- 2日目 東京都足立区：小中一貫型教育のモデル校
- 3日目 千葉県旭市：イオンと統合した世代交流センター

1日目と3日目の視察で民間企業と行政が協力しあって“地域共生の持続可能なまちづくり”を実現されているのを見られて大変勉強になりました。2日目の視察では、小中一貫校だと中学入学の際に環境変化が少なく、9学年が同じ場所を共有するといった特性があり、それらのメリット・デメリットについて現場の先生方と本音で意見交換を行いました。

稲葉ゆかり後援会へのご入会を随時募集しております！(右のQRコードで公式サイトからどうぞ)
入会時にメールアドレスをお知らせいただいた方には、毎月1日と15日にメールマガジンを配信させていただきます。都度取り組んでいることや思っていることなど、赤裸々につづやいております。

発行元：稲葉ゆかり後援会(070-9056-1780)

inabayukari.com

